

**福岡県共同公文書館  
令和3年度第1回企画展  
「福岡県政150年  
第2部アジアのなかの福岡へ」**

明治4年に「福岡県」が誕生してから今年で150年を迎えます。県政150年の歩みを、行政の記録である「公文書」を材料として、各時代の福岡県内のできごとや、当時の福岡県における施策を紹介します。ホームページ上でのオンライン展示も同時開催します。

- 展示期間 8月3日(火)～9月26日(日)
- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日、祝日(月曜休日の場合は翌日も休館)
- 開催場所 福岡共同公文書館(筑紫野市上古賀)

また、期間中、九州歴史資料館(小郡市三沢)では企画展「福岡県政150年～第1部九州の中核をめざして～」を同時開催。併せてお立ち寄りください。

- 問い合わせ先  
福岡共同公文書館 TEL 092-919-6166

**福岡県からのお知らせ  
「指定希少野生動植物種」に  
20種を指定しました**

希少野生動植物種の保護により、生物多様性を確保し、人と野生動植物とが共生する豊かな自然環境を次代に継承することを目的に制定した「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例(令和3年5月1日施行)」第9条に基づき、特に保護が必要なキビヒトリシズカやムラサキ、コバンムシなど20種を「指定希少野生動植物種」に指定しました。指定希少野生動植物種は捕獲、所持、陳列・広告などに規制があり、罰則が適用されることがあります。また、指定希少野生動植物種が指定される前にその種を捕獲などし、指定の際、現に所持している場合は、知事への届出が必要です。

- 問い合わせ先  
福岡県環境部自然環境課 TEL 092-643-3367  
ホームページ  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kisyousyu-jyourei.html>

**司法書士による相続・遺言相談会**

相続登記や遺言書の作成などの他、不動産の名義変更、成年後見制度や借金問題、賃貸借トラブルなど日常生活で生じる法律問題について司法書士が無料で相談に応じます。

- 日時 8月1日(日) 10:00～16:00
- 方法 ※予約不要です。当日下記番号までおかけください。

【相談電話番号】TEL 0570-783-544

■主催 福岡県司法書士会

- 問い合わせ先  
福岡県司法書士会 TEL 092-722-4131  
※平日10:00～16:00

**職業訓練講座の開講のお知らせ**

- 場所 豊前地域職業訓練センター  
(豊前市大字八屋1926番地)

**【フォークリフト運転技能講習(行橋会場)】**

- 訓練期間 7月27日(火)～30日(金)
- 費用 受講料 20,900円(大型特殊免許所有)  
または 33,000円(普通免許所有)  
※別途テキスト代 1,650円
- 定員 20名

**【第一種電気工事士(学科)】**

- 訓練期間 8月22日(日)～9月26日(日)  
(計6回 原則毎週日曜)
- 費用 受講料 35,660円  
※別途テキスト代(未定)
- 定員 20名

**【商業簿記3級】**

- 訓練期間 7月30日(金)～11月10日(水)  
(計27回 水・金曜開講)
- 費用 受講料 31,420円  
※別途テキスト代(未定)
- 定員 20名

**【パソコン基礎】**

- 訓練期間 7月19日(月)～8月2日(月)  
(計6回 月水金曜開講)
- 費用 受講料 8,370円  
※別途テキスト代 2,640円
- 定員 20名

※各講座とも定員になり次第締め切ります。

- 申し込み・問い合わせ先  
豊前地区職業訓練協会 TEL 82-1511

**福岡県司法書士会  
「相続・遺言推進月間」**

福岡県司法書士会では、8月を「相続・遺言推進月間」と定め、福岡県内の司法書士が相続登記の手続きや遺言書の作成に関する相談に無料で応じます。お気軽にご相談ください。

- 期間 8月1日(日)～31日(火)  
※相談日時は紹介先の司法書士と調整ください。
- 場所 福岡県司法書士会会員事務所
- 紹介 司法書士総合相談センターにて、最寄りの司法書士事務所をご紹介します。

**【司法書士総合相談センター】**

TEL 0570-783-544

※8月9日(月)、13日(金)を除く平日10:00～16:00

- 問い合わせ先  
福岡県司法書士会 TEL 092-722-4131  
※8月9日(月)、13日(金)を除く平日10:00～16:00

**裁判所職員採用試験のお知らせ  
令和3年度裁判所職員採用一般職試験  
(裁判所事務官、高卒者区分)**

- 申込受付期間  
\*インターネット  
7月6日(火)10:00～15日(木)【受信有効】  
\*郵送  
7月6日(火)～9日(金)【7月9日消印有効】
- 第1次試験日 9月12日(日)
- ※受験資格などの詳細は、5月26日(水)から最寄りの裁判所で配布する受験案内または裁判所ウェブサイトでご確認ください。  
<https://www.courts.go.jp/saiyo/index.html>

- 問い合わせ先  
福岡地方裁判所 事務局人事課 任用係  
TEL 092-981-9642

**中津ファビオラ看護学校  
オープンキャンパスのお知らせ**

- ◎看護学科 7月25日(日) 10:00～12:00
- ◎准看護学科 8月8日(日) 9:30～11:30

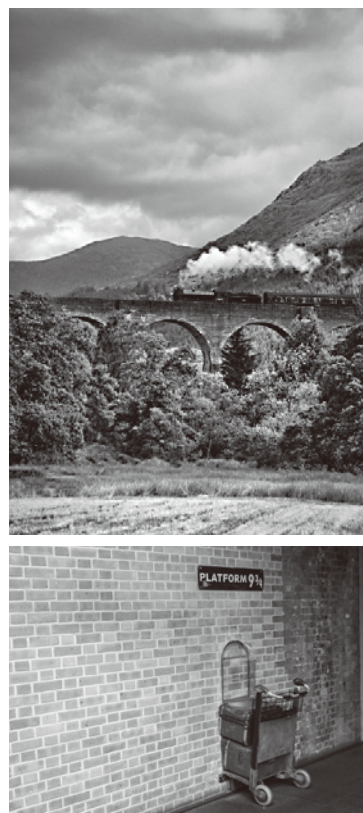
- 内容  
\*学校概要説明  
\*入学試験について  
\*学校内見学  
\*個別相談  
\*質疑応答・アンケート

- 問い合わせ先  
中津ファビオラ看護学校 TEL 24-7270  
中津市大字永添2110番地



**The Real Hogwarts Express**

One of the most iconic and memorable things from the Harry Potter series of films is the journey to Hogwarts school aboard the red steam train called "The Hogwarts Express". Particularly there is a scene where the train is filmed crossing a very large, stone bridge across a valley. Although most people will know that in USJ you can take a photo with a fake version of the train, but did you know if you got to Scotland you can ride the real thing? The real train is called "The Jacobite" and still looks exactly as it did in the movie, with a black front carriage and red passenger carriages. The large stone bridge is also real and is in Scotland. If you ride the train you will cross it. The bridge, called the "Glenfinnan Viaduct" was built in 1897. In Harry Potter, the train leaves from platform 9 3/4 at King's Cross station in London and although this isn't real, there is a sign in King's Cross where you can have your photo taken. If you're a Harry Potter fan and get the chance to visit Scotland or London, these are two spots I recommend visiting.



**本物のホグワーツ特急**

ALT(外国語指導助手)ロビン

映画「ハリーポッター」シリーズの中で最も象徴的で記憶に残るものの1つに、「ホグワーツ特急」という赤い機関車に乗り「ホグワーツ魔法魔術学校」に向かう行程があります。特に、谷に架かる大きな石橋を渡るところを撮影されたシーンがあります。「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」では、作り物の機関車と一緒に写真撮影ができることを知っている人も多いと思いますが、スコットランドに行けば、本物に乗車できることを知っていますか? 実際の機関車は「ジャコバイト」と呼ばれ、前部の黒い車両と赤い客車があり、映画とまったく同じように見えます。本物の大きな石橋もスコットランドにあり、機関車に乗れば渡ることになります。「グレンフィンラン高架橋」と呼ばれる橋で、1897年に建設されました。「ハリーポッター」の中で、機関車は、ロンドンの「キングズ・クロス駅」の9と4分の3番線から発車します。実際に、これ(9と4分の3番線)はありませんが、駅には記念碑があるので、写真を撮ってもらうことができます。もし、皆さんがハリーポッターのファンで、スコットランドやロンドンを訪れる機会があれば、この2つの場所に訪れることをお勧めします。